



大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会 研修部
第75号
2021年12月7日

つい先日2学期を迎えたばかりのはずなのに、もう学期末が近くなって参りました。体調などに気を付けて新年を迎えましょう。

喜界町事務職員会

こんにちは、喜界町事務職員会です。今年度の本会の取り組みについて紹介します。本町の事務職員会は、小学校2校、中学校1校の3校3名で構成されています。ほぼ月2回の会を行っており、年間、事務支援室17回と町事務職員研修会5回を計画しています。会場は、事務支援室は喜界小学校で、町研修会は町役場です。赴任の年は、町費の事務処理を理解し、1年間の町費事務の手順を覚える場ともなっています。事務支援室にはパソコンがあり、説明のためによく利用しています。町費事務では、学校予算事務、就学援助費事務、補助金事務、定期監査などがあります。学校予算事務では会計システムの使用の仕方や業者の情報、備品の管理などについて確認しました。就学援助費事務では、次年度の小中学校の入学生とそれ以外の在校生の申請の時期が異なることについての留意事項、申請もれの防止、支給についての効率的な事務処理について検討しました。町の定期監査については、対象年度についての事務処理の再確認と各学校での指摘事項を確認しました。

その他には、諸手当認定事務では、個々の状況を正確に把握したうえでの認定と事後の確認の継続に注意しています。

また、諸帳簿の相互点検では、自主検査を実施する月に各学校の帳簿を持ち寄り、他校の諸帳簿の点検をして、不備があった場合は年度内の事務処理ができるようにしています。自校では気づかなかった事項を点検することもあるので、今後より効果的な相互点検が行えるようにしていきたいと思います。また、改正事項等の通知文書の再確認をしました。県事協マニュアル等とあわせて、随時、確認をしていきたいと思います。

今年度の後半も、相互点検や会で確認した事項を、各学校の事務処理に生かしていきたいと思います。



奄美市名瀬東部・住用地区事務支援室

うがみんしょーら。名瀬東部・住用地区学校事務支援室です。本支援室は「名瀬東部支援室」と「住用支援室」が平成31年4月に統合してできました。9つの学校、8名の事務職員から構成されています。統合してからまだ3年目ではありませんが、昨年度から今年度にかけては、メンバーの入れ替わりがなく、落ち着いた和やかな雰囲気の中、共同実施が行われています。意欲的に支援室業務・研修に取り組んでいる私たちですが、話に花が咲くこともしょっちゅうあり、よく笑い声が執務室の外にまで響いています。

支援室名に「名瀬」が入っているため、規模の大きい学校が多いと思う方もいらっしゃるかもしれませんが、実際には大規模校より小規模校、中でも小中併設校が多いのが特徴です。(9校のうち小中併設校は4校。ちなみに住用中学校は住用小学校の事務職員が兼務しており、両校は併設校ではありません。)

規模の大きい学校と小さい学校では校内における業務の内容・量に大きな差があり、互いの悩み等をうまく共有できないこともあります。自校で経験できないことを習得できるメリットは大きいと感じています。

今年度は「起案書及び毎月行っている実績報告等相互点検の点検表の見直し」「未配置校支援」「備品の共同購入」「奄美市事務職員研修会の運営」など様々なことを8名全員で熟議しながら行うことで「学びを実践につなげる事務職員」を目指しています。



(花いっぱい住用小学校玄関前にて)



新規採用者の声

喜界町立喜界中学校 黒武者 理己

今年度から新規採用として喜界中学校に赴任いたしました黒武者理己と申します。赴任当初は初めての仕事、初めての土地ということもあり不安でいっぱいでしたが、支援室の先生方の優しい指導のおかげでようやく少しずつですが仕事に慣れてきたように感じます。

喜界島には中学校が1校しかないため支援室の先生方が本来行っていない中学校独自の業務の質問なども多々ありましたが、その際も一緒に解決策を考えて下さり丁寧に指導をしてくださりました。その姿を見て、私も今後指導をする立場になった際には喜界町の先輩方のような指導を心がけていきたいと思いました。

また、今年は去年とは違い地区総体や県総体が開催されました。去年新型コロナウイルスによって出場できなかった3年生を間近で見ていた今年の3年生は、いつも以上に頑張ってきたと思います。そんな生徒たちを影から支える事務職員の業務はとてもやりがいがあり、もっと生徒たちのために頑張ろうと思えるきっかけにもなりました。この気持ちを忘れないようにしていきたいと思います。

まだまだ覚えることも多く、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますがこれからもよろしくお願いいたします。

瀬戸内町立篠川小中学校 事務職員 福永 快

皆さん、こんにちは。昨年の4月に篠川小中学校と油井小中学校に着任しました福永 快と申します。着任してから早いもので1年と半年が過ぎました。当初は初めての島での生活や机に置かれていた大量の書類を見て何から手を付けていいかわからず不安でいっぱいでした。しかし、篠川小中や油井小中の先生方をはじめ、瀬戸内町事務支援室の先生方に御指導や助言を頂きながら業務を行い、乗り切ることが出来ました。今思うと、年度初めでお忙しい中、私の方にも気を回してくださり、先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。

篠川小中学校は地域との関りも深く、地域と学校が連携して行う行事が一年を通して行われます。そのおかげか子ども達も素直で元気がよく、私自身学校の近くの教職員住宅に住んでいますが土日も遊びに連れ出され、暇を持て余すことなく楽しく過ごすことが出来ています。



まだまだ未熟者ではありますが、篠川油井の児童、生徒、職員、地域の方々、そして瀬戸内町の事務の先生方の少しでもお役に立てるよう日々様々な事を学び、努力してまいります。今後とも宜しくお願いします。

徳之島町立東天城中学校 北原 真琳

今年度新規採用で徳之島町立東天城中学校に赴任しました、北原真琳です。赴任から早くも半年が経ち、新生活に対してたくさんの不安を抱えながら徳之島行きの飛行機に乗ったのが遠い昔のように感じます。この半年間は、初めての経験の連続で一難去ってまた一難といった感じでしたが、頼りになる支援室の先輩方や東中の先生方、支え合える同期たちのおかげでなんとか業務をこなすことができました。特に支援室の皆さんは優しい方ばかりで、分からないことがあれば

どんな些細なことでも私が理解できるまで丁寧に教えてくださるため、大変感謝しています。これからも



日々の業務に真摯に取り組みながら、共同実施や研修会など学びの機会も大切にして、事務職員として成長していけるよう頑張ります。

喜界町事務職員会、奄美市名瀬東部・住用地区事務支援室の担当者の方々、及び3名の新規採用の先生方、原稿の提供ありがとうございました。支援室だよりも提供していただきましたので、皆さまお読みください。

次回の大事協よりの内容は

- ・地区からのおたより(瀬戸内町)
- ・退職者挨拶
- ・新規採用者の声



となっております。対象者は担当理事から原稿依頼が来ると思いますので、ご協力よろしくお願いいたします。

【大事協からのお願い】

1. 各市町村及び支援室の事務職員定数の増減がありましたら、各地区の理事または執行部までご連絡ください。
2. 退職、(産休代替などの期限付き等の)新規採用の先生の情報などありましたら、こちらまでご連絡ください。
3. 慶弔規定に関わる請求事由が生じた時は、各地区の理事または執行部までご連絡ください。(第3回理事会時に会計から理事に該当分をお渡します。)